

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 ☎ 0120-232-7111(東京)  
 ☎ 0120-094-7777(大阪)
- 単元株式数 1,000株  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL  
<http://www.xcat.co.jp/ir-info/electronicnotification/index.html>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内



<http://www.xcat.co.jp/ir-info/>

当社IRサイトにおいて、最新のIRニュースから業績・財務情報をはじめ、詳細なIR情報を開示しております。是非ご覧ください。

C o n t e n t s

企業理念	1
ごあいさつ	2
財務ハイライト/主要経営指標(連結)	3
クロスキャットの業種別売上構成と特長	5
クロスキャット 4つの強み	7
IT Keyword	8
TOPICS	9
会社概要/株式の状況	10

## 企業理念 心技の融和

クロスキャットは、知識・技術・創意という知的要素である『技』を高め、お客様には『心』で対応する。  
つまり『心技の融和』をモットーとして社会に貢献します。

## 経営理念 技術と感性

私たちは、企業理念にある『心』の本意は誠意であり、時には意欲・忍耐・信念をも包含すると考えます。  
従って、どんな困難な局面においても『ハート』を失わないよう努めます。

私たちは、先進的なアプリケーション開発技術と、多様な運用のノウハウを駆使し、  
ユーザーへの総合的かつプロフェッショナルなサービスの提供に努めます。

私たちは、常に時代を見る眼と、みずみずしい感性を持ち、  
世のトレンド、環境にフレキシブルな対応ができるよう努めます。

### 社名の由来



<X>は、CROSS、つまり「交差」を意味します。「テクノロジーとハート」、「ユーザーとメーカー」、「ハードとソフト」、そして「社会と会社」との交差を示す言葉として、さらには、可能性のある未知数を示す意味を含めてシンボライズしました。  
交わる接点の●印は調和と融和を意味し、そこにもう一つ●印を添えることによって、優しさのある猫の眼と共に、時代を見る眼を併せ持つ企業であることを表現しました。  
<CAT>は、Computer Application Technologyの略称。先進性及び技術、知性を表すために、<X>に連動させ、シャープでユニークなデザインにしました。コーポレートカラーは、親近感と調和を意味する「グリーン」を基調色とし、知的でモダンなイメージの「黒」をポイントカラーとして起用しました。

### ごあいさつ

顧客起点のサービス実現で競争力を強化し  
信頼される企業としてニーズに応じてまいります。

代表取締役社長  
牛島 豊



株主の皆様には平素より格別のご支援及びご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

ここに第38期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

当期は、景気回復の遅れから顧客のIT投資への慎重姿勢が続いたことにより減収となったものの、保険金の受取があったことにより増益となりました。

当社を取り巻く環境は、東日本大震災による企業活動への影響もあり、顧客のIT投資への回復遅れが懸念され、企業間競争は一層の厳しさが予測されます。

当社は、顧客起点のサービス実現により信頼される企業を目指し、事業の推進と人材の育成を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

成長に向けた重点戦略  
顧客起点

プロフェッショナルの育成

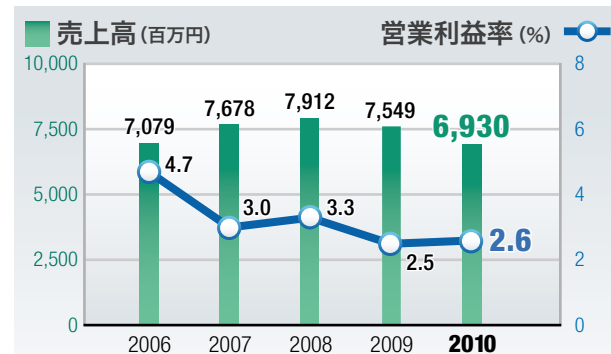
コア領域の強化

経営基盤の強化

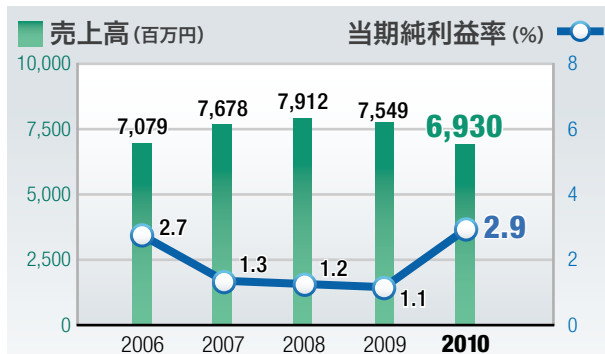
価格競争力の強化

減収となったものの、経常利益および当期純利益は前期より増加。  
1株あたりの配当金は8円となりました。

財務ハイライト(連結)



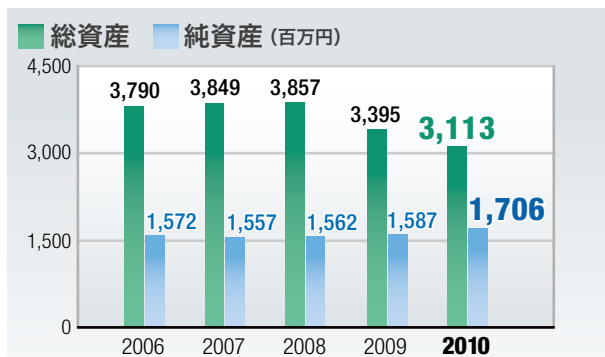
売上は減収となりましたが、営業利益率は改善しました。



当期純利益率は、保険金受取の計上により前期比で1.8ポイントの増加となりました。

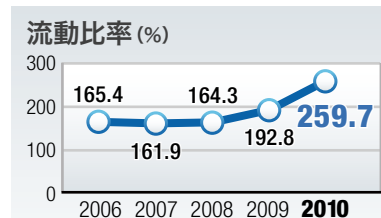


流動資産、流動負債とも減少しました。

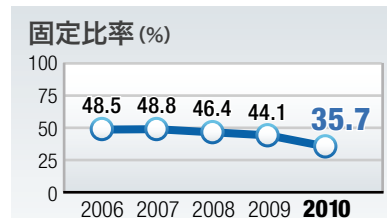


総資産は減少しましたが、純資産は増加しました。

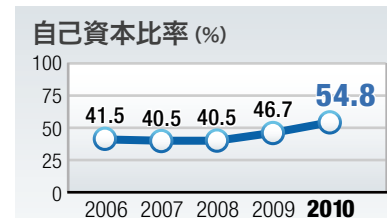
主要経営指標(連結)



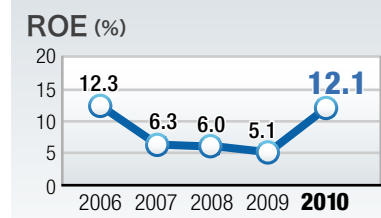
資金の流動性を表す指標。当期は前期比で66.9ポイント増加しています。



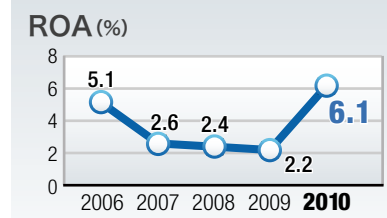
固定資産をどの程度自己資本でまかなっているかを示す指標。当期は前期比で8.4ポイントの減少となりました。



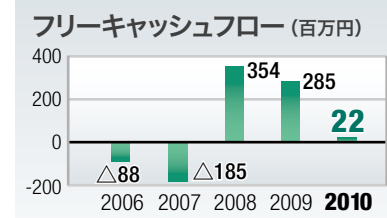
総資産に占める自己資本の割合を示す指標。当期は総資産の減少に対し純資産が増加したことにより前期比で8.1ポイント増加しました。



株主資本を使って上げた利益を示す指標。当期は前期比で7.0ポイント増加しました。



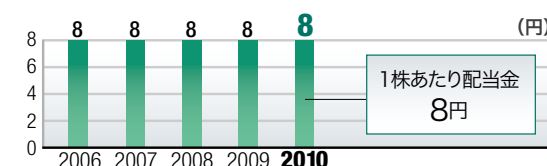
総資産に対する利益率を示す指標。当期は前期比で3.9ポイント増加しました。



企業活動により残ったキャッシュフロー。当期は前期比で263百万円の減少ですが、黒字を保っています。

配当について

利益配分については、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主様への利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としています。こうした考えのもと、当期の配当金については8円とさせていただきます。



## 2010年度クロスキャットの業種別売上構成と特長

クロスキャットは、クレジット、金融を中心に、さまざまな分野へ事業を展開。  
 “独立系の情報サービス企業”の強みを活かし、幅広い視点と柔軟な発想で、顧客のニーズに応えています。

クレジット  
 19億2百万円



当社はクレジットの進化とともに、20年以上にわたり数多くのシステム構築(会員の与信や各種提携カード、CD・ATM業務など)を積み重ねてきました。そのなかでもVISAカードやマスターカードなどの“国際ブランドカード”と呼ばれる分野では優位な技術を保有しています。  
 私たちの暮らしに深く浸透しているクレジットカードは、これからも、ETC決済、IC決済、ネット決済…と決済方法の多様化によって成長していくと見込まれています。

金融  
 14億円

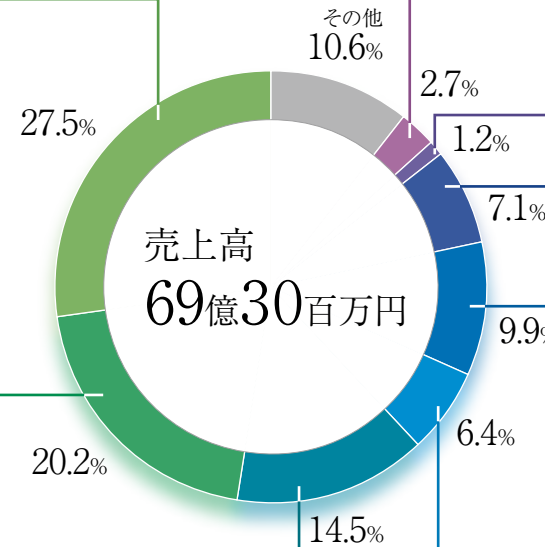


クレジット分野とともに“コア領域”の両軸を担う金融分野では、「銀行」「保険」「証券取引所」向けのシステムを構築しています。  
 銀行システムでは、対外系制御を中心に業務システムの構築からシステム保守までを手掛け、保険においても大規模インフラ構築を得意分野として、高品質なソリューションを提供しています。

官公庁・自治体・公共事業  
 10億3百万円



当社は、政府の新IT戦略の柱である“電子政府”の実現の一翼を担い、全国規模のインフラ整備やシステム保守を手掛けてきました。また、ガス会社の営業システムなども高い評価をいただいています。近年では、当社独自で入札・落札した開発案件を高品質で納入し、さらなる実績を積み上げています。



報道出版  
 1億88百万円



テレビ局の地上デジタル対応を主とし、さらに営業を支援するシステムを開発しています。

流通  
 8.3百万円



各種卸業の販売管理システムや調剤薬局向けシステムを開発しています。

製造  
 4億92百万円



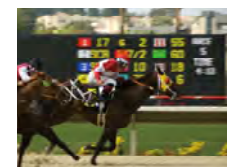
食品・飲料の販売・マーケティング・経営管理などの“戦略情報”に加え、生産工場における“品質管理情報”を提供し、企業活動を支えるシステムを開発。また、カーナビゲーションシステムの開発にも参画しています。

通信  
 6億85百万円



通信会社が提供するネットワークが正常に動作するように24時間・365日の監視をし、故障時の即時対応などで通信会社からの信頼を得ています。また、携帯電話会社の顧客管理システムの開発、携帯電話で使用するネットワークシステムのインフラ構築にも取り組んでいます。

公営競技  
 4億40百万円



競馬、競輪、競艇、オートレースなどの「公営競技システム」の開発に30年以上携わり、幅広いノウハウを蓄積。投票系から情報系までの公営競技運営システムを提供しています。

# クロスキャット 4つの強み

構造変化の著しいIT業界のなかで、市場競争につながるクロスキャットならではの強みについてご紹介します。

## 1 金融・クレジット業界での豊富な実績

金融業界のITシステム化を得意分野に

長年、銀行・保険などの金融やクレジット分野で、多くの大規模システム構築を担ってきました。“24時間・365日止まらない”安定性が求められるミッションクリティカルなシステムを手がけてきたことが、開発技術の品質と信頼性の高さを証明しています。

金融業 ●都市銀行 ●生命保険会社 ●損害保険会社

クレジット業 ●信販系クレジット会社 ●流通系クレジット会社  
●銀行系クレジット会社 ●消費者金融系会社

## 2 情報活用のエキスパート

企業から注目が集まるBI(ビジネス・インテリジェンス)

迅速・的確な意思決定や戦略立案をサポートする仕組みとして注目が高まっているBIにおいて、BIツールの提供とテンプレート開発・提供で高度なコンサルティング・サポートを展開しています。

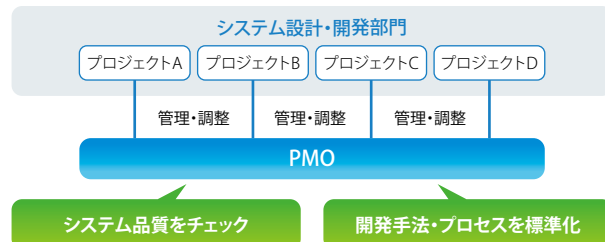
当社パートナー



## 4 信頼を支える高度な品質管理

PMO(プロジェクト・マネジメント・オフィス)で開発プロセスを標準化

システム開発の品質と効率向上を推進するPMOを、IT業界でいち早く導入。各プロジェクトの開発品質を支え、よりよいシステムを提供しています。さらに、開発手法などの標準化も推進し、品質保証の仕組みも整備しています。



## 3 幅広いシステムに対応出来る技術力

多彩な技術スキルをもつエキスパート集団

独立系Sierの強みを活かし、豊富な知識を持つエンジニアがお客様のニーズに最適な技術・製品を選び、迅速にシステムを構築します。業務アプリケーションはもちろん、システムの品質や信頼性などを支えるシステム基盤も提供。運用や保守も含め、お客様のシステムをトータルにサポートしています。

対応OS ●汎用機 ●UNIX ●Linux ●Windows ●Mac OS など

データベース ●Oracle ●SQL Server ●Jet/Access ●MySQL など

プログラム言語 ●COBOL ●C ●Visual Basic ●C++ ●Java など

# イラスト解説 IT Keyword

納得!

簡単!

IT業界、そして当社について、もっと知っていただくために——  
一般には馴染みのないIT用語をイラストで解説します!

## クラウドコンピューティングとは?

従来、手元のパソコンやサーバで管理・利用していたソフトウェアやデータなどを、インターネットのネットワークを通じて必要に応じて利用するサービス方式のこと。IT業界では、システム構成図を作成する際にネットワークの先を雲=クラウド(cloud)の形で示す慣習があり、雲の中にあるサービスを利用することから、この名が付いたといわれています。



クラウドコンピューティングでは、24時間・365日使えるネットワーク環境が求められます。当社は、クラウドコンピューティングに欠かせないIT基盤の構築・運用に携わっています。

評価されたBI分野の豊富な活動と実績

オラクル社の新認定制度「Specialization」で日本初の認定を取得しました。

オラクル社が世界共通で導入したパートナー向け新認定制度で、国内初の「Oracle Business Intelligence Foundation Specialization」に認定されました。この制度は、オラクル社の主力製品や各業界向けソリューションを中心に50以上の分野ごとに認定基準を定め、それをクリアしたパートナーの専門性を認定し、明示するものです。今後はオラクル社との連携を強化し、より多くのお客様へ最新の情報基盤の提供を行っていきます。



よりわかりやすく強みや魅力を紹介

ユーザー視点で、ホームページをリニューアルしました。



<http://www.xcat.co.jp/>

<http://www.xcat.co.jp/products/>

2011年4月より、ホームページを全面刷新しました。知りたい情報にすぐたどり着けるよう構造を工夫するなど、どなたにも使いやすく、わかりやすいホームページを目指しました。コンテンツ面では、当社をより一層理解していただくために「当社の強み」を紹介するコーナーを設けたほか、Slerとしての実力を伝えるソリューションページや開示情報の充実を目的としたIRページなどを展開しました。今後も引き続き、コンテンツの充実を図っていきます。

会社概要／株式の状況 (2011年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社クロスキャット(証券コード2307)  
 設立 1973年6月  
 資本金 4億59百万円  
 売上高 69億30百万円(連結)  
 事業内容 システムソリューション  
 スタッフサービス  
 従業員数 567名  
 登録 ISO27001認証 ISO9001認証  
 プライバシーマーク認定 一般労働者派遣事業  
 有料職業紹介事業 電気通信事業

●事業所

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川一丁目2番5号  
 NOF品川港南ビル  
 TEL.03-3474-5251(代表) FAX.03-3474-5085  
 仙台支店 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院二丁目  
 1番65号 花京院プラザ  
 TEL.022-215-6661(代表) FAX.022-215-6688  
 仙台支店 盛岡オフィス 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通16番21号  
 盛岡駅前通ビル  
 TEL.019-656-9192 FAX.019-656-9193

●役員 (2011年6月24日現在)

代表取締役社長 ..... 牛島 豊 監査役 ..... 遠藤 正  
 専務取締役 執行役員 ..... 田幡 隆 監査役 ..... 清水 裕  
 常務取締役 執行役員 ..... 井上 貴功  
 取締役 執行役員 ..... 前田 耕司 執行役員 ..... 中村 雅彦  
 取締役 執行役員 ..... 野尻 速雄 執行役員 ..... 飯野 貴博  
 取締役 ..... 三嶋 峰雄 執行役員 ..... 佐藤 武次  
 常勤監査役 ..... 橋本 剛 執行役員 ..... 伊藤 隆

株式の状況

発行可能株式総数 ..... 35,800,000株  
 発行済株式の総数 ..... 9,210,960株  
 株主数 ..... 667名

●大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
佐藤順子	1,045,510	11.35
クロスキャット社員持株会	988,000	10.72
尾野貴子	777,160	8.43
牛島豊	444,000	4.82
田崎冬子	416,000	4.51
磯田晶子	400,000	4.34
大久保尚子	400,000	4.34
小野田亜紀	362,000	3.93
並木豊	328,000	3.56
田代憲利	296,000	3.21

●所有者別分布

